

## 【ご案内】会誌「情報処理」のオンライン記事について

会誌「情報処理」の特集記事は、これまで冊子、オンライン（電子図書館）の両方に掲載しておりましたが、次のとおり オンラインのみへの掲載 に変わりました。また、オンライン限定記事の掲載も始まりました。

◆開始月：2020年11月号（発行日：2020年10月15日）

◆閲覧方法：会員区分によって異なりますので以下をご確認ください。

### 【個人会員の皆様】

電子図書館（情報学広場：<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>）にログインし、該当記事のpdfをダウンロードしてください。すでに電子図書館をご利用いただいている方は今までどおりです。

電子図書館を初めて利用される方は、会員としてのユーザ登録が必要になります。

未登録の方には毎月上旬に次の件名のメールを送信しておりますので、到着次第、登録してください。

- 件名：[情報学広場:情報処理学会電子図書館] ユーザー登録のご案内
- 差出：ipsj-ixsq@nii.ac.jp

【個人会員】



電子図書館  
(情報学広場)

★詳細：電子図書館利用方法（個人用）－利用までの流れ（<https://www.ipsj.or.jp/e-library/ixsq.html#anc2>）

ご案内メールをお急ぎの方や閲覧方法が分からない方は、会員サービス部門（E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp)）に会員番号を添えてご連絡ください。

### 【賛助会員各位・購読員の皆様】

賛助会員・購読員の企業・大学に所属されている方に「情報処理」（冊子）を貸し出した場合、特集の閲覧方法について照会がございましたら、次の手順をお知らせください。

#### <手順>

- (1) 「情報処理」の特集ページ（扉または概要ページ）を開く。
- (2) 閲覧申込のURLにアクセスする（またはQRコードを読み取る）。
- (3) 必須事項を入力し送信する。
- (4) 次の件名（10月号の場合）の受信メールに従って、電子図書館から特集のpdfをダウンロードする。
  - 件名：情報処理 2021年10月号（Vol.62, No.10）「チケットコード」とご利用方法のご連絡

#### ★注意事項

- 法人アカウントではご利用いただけません。
- 閲覧される方が電子図書館のユーザIDをお持ちでない場合は、ご自身でユーザ登録する必要があります。

本件に関する問合せ先：一般社団法人情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp)



## ● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.62 No.9 (Sep. 2021)

### 【特集：Society 5.0を実現するコンピュータセキュリティ技術】

- 特集「Society 5.0を実現するコンピュータセキュリティ技術」の編集にあたって 吉岡克成
- Real-time Container Integrity Monitoring for Large-Scale Kubernetes Cluster Hirokuni Kitahara 他
- Client-aided Robust Bit-composition Protocol with Deterministic Cheater Identification in Standard Model Hikaru Tsuchida 他
- A New Schnorr Multi-Signatures to Support Both Multiple Messages Signing and Key Aggregation Rikuhiro Kojima 他
- RA : A Static Analysis Tool for Analyzing Re-Entrancy Attacks in Ethereum Smart Contracts\* Yuichiro Chinen 他
- $n < 2k-1$  において malicious な攻撃者に対しても安全な秘密分散を用いた秘匿計算とその拡張 落合将吾 他
- QR コードへ適用可能な拡張視覚復号型秘密分散法の提案 大川直也 他
- Detecting Fake QR codes using Information from Error-Correction\* Toshihiro Ohigashi 他
- Novel Deception Techniques for Malware Detection on Industrial Control Systems Takanori Machida 他
- Empirical Analysis of Security and Power-Saving Features of Port Knocking Technique Applied to an IoT Device Aamir H. Bokhari 他
- SVTester : Finding DoS Vulnerabilities of Virtual Switches Son Duc Nguyen 他
- Bitcoin 取引履歴の特徴量に基づくアドレス識別リスクの評価 松本寛輝 他
- 業務プロセスの伝票突合せアセスメント手法の適用事例研究 河本高文 他
- IoTPoCoFuzz : 消費電力を考慮したモデルベースのリモートファジングの実現とその半自動化\* 水野慎太郎 他
- 偽ショッピングサイトによる攻撃手法の実態解明\* 小寺博和 他
- 悪性 Web サイトの探索によるモバイル向けブラックリスト構築手法の提案と実証実験データを用いた分析 石原 聖 他
- 分光スペクトルを用いた調光機能のある白色 LED の個体識別 藤 聡子 他
- 健康診断データとレセプトデータの匿名加工情報を用いた疾病リスク分析 伊藤聡志 他

- Fairness Improvement of Congestion Control with Reinforcement Learning † Meguru Yamazaki 他
- 専門家の知見に基づいた特徴量設計による IDPS シグネチャ重要度分類 川口英俊 他
- 研究利用可能な小論文データに基づく参照文書を利用した小論文採点手法の開発 竹内孔一 他
- 説明文を対象とした日本語文末述語の平易化 加藤汰一 他
- 褒める行為における頭部・顔部の振る舞いの分析\* 大西俊輝 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



## ● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(Sep. 2021)

### 【論文誌 プログラミング Vol.14 No.3】

- Rumpfr : A Fast and Memory Leak-Free Rust Binding to the GNU MPFR Library Tomoya Michinaka 他
- A Functional Reactive Programming Language for Small-Scale Embedded Systems with Recursive Data Types Akihiko Yokoyama 他



### 【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.11 No.3】

- 回帰と分類用の深層学習を用いた製造現場での作業動作特徴抽出システム 村井浩一 他
- 遠隔地にある PAN デバイスとの直接通信を可能とする VPAN システム 酒井恵梨香 他
- マルチディスプレイシステムのための可用性を保った端末位置推定法 鈴木広人 他
- Person Identification Based on Accelerations Sensed in Smartphones with LSTM Yoshihaya Takahashi 他



## ◎ IPSJ カレンダー◎

学会イベントの最新情報を下記 URL でご案内しています。新型コロナウイルス感染症拡大を受け、開催方法の変更、開催中止などの可能性がありますので、最新情報をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.ipsj.or.jp/calendar.html>





今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。

#### 巻頭コラム「情報革命がもたらしたシニアネットの奇跡」

- 情報技術の世の中への良い影響が記されている。(日隈壮一郎)
- ITの利活用に対し、とても前向きな気持ちになりました。(後藤正宏)
- シニア世代は情報技術から取り残されてしまうイメージがあるが、そのイメージを覆す活動をしていて良いと思った。(匿名希望/ジュニア会員)
- 本誌にふさわしく大変良いと思います。(滝口 亨)
- 進化するITで高齢者の生活が豊かになるには?もあってほしいと思います。(滝口 亨)

#### 巻頭言「IPSJ2021 ニューノーマル時代を切り拓く学会を目指して」

- 徳田新会長の今後の情報技術発展への意気込みが伝わってきて頼もしく思いました。(後藤正宏)
- 学会がオンライン開催になったことで“情報の偏食”が容易になったという点は体感していたので、共感を持てる内容だった。(森山有理名)

#### 教育コーナー「べた語義」

- 「縦横連携で小中高大一貫の情報教育実現を」
- 現状把握がされていて分かりやすい内容でした。(イトウハルオ)
  - 今こそさまざまな学校段階、学会の垣根を越えて、縦と横に連携することが大切だと思った。(匿名希望/ジュニア会員)
  - 大変適切なご指摘であると思いました。(滝口 亨)
  - 「教えられる」側の視点でも触れていると課題解決にさらに近づくと思った。(匿名希望)
- 「大学入学共通テスト新科目『情報』」
- 全国の情報科の教員も一読してもらいたい内容。(印部太智)
  - 大学入学共通テストの内容の概観が見えてきた。(近藤 正)
  - 以前から気になっていた点で、最新情報を知ることができた。(小西敏雄)
  - 新しい科目の試験問題の作成での検討において、どう工夫されているのか非常に興味深かった。CBTの実現に関する課題をどう解決するのか気になる。(高橋響子)
- 「大学入学共通テスト『情報』試作問題(検討用イメージ)

#### と私感」

- 中野先生の試作問題に関する私感は大変参考になるものであった。(井手広康)
- これからの情報教育の試験イメージについて、裏側の意図についてよく知れた。(高田峻介)
- 各問題がどのような能力を要求するものなのかを理解することができ、読みやすい記事だった。(南川智都)
- かなりレベルの高いところを狙っていることが分かった。(小西敏雄)
- 大問それぞれについて、どういう意図で作成したのか述べてあり、受験生ではないが解いてみたくなった。(高橋響子)

#### 特別解説「『ドコモ口座』はなぜ攻撃されたか？」

- 大手企業と銀行というセキュリティと信頼が高いところで、このようなずさんな状況になっていたとは、恐ろしい感じがした。(Shinichi Sobue)
- 身近なセキュリティの問題について、誰でも分かるような平易な説明がされており、すんなり頭に入った。(南川智都)
- 特に開設時の本人確認についてあまり指摘されているのを見ていなかったため新しい情報が多く、原因がよく理解できた。(河瀬基公子)
- ニュースだけでは問題の本質が分かっていなかったが、この記事を読んで理解できた。(高橋響子)
- 身近な社会問題を情報処理学の視点から書いた良い記事だと感じた。(大塚敬義)

#### 特集「触覚と情報処理」

##### 「編集にあたって」

- 触覚と情報処理を結ぶ技術はこれから発展が期待され、現在の状況が少し理解できた。(匿名希望)
- 注目分野を俯瞰できて良かった。(堀田多加志)
- ロボットハンドにおける触覚の重要性、行動獲得やAIとの関係について解説する記事も選んでいただきたかった。(堀田多加志)

##### 「1. ウェルビーイングにおける触覚の役割」

- 他の感覚に比べ、難しい課題も多いようですが、解決への期待も大きいです。(後藤正宏)
- リモートの時代だからこそ、離れていても繋がっている感覚が大切です。薄れている一体感を生むためのヒントになりました。(匿名希望)
- 持続的ウェルビーイングの実現に触覚は重要な役割を担っていると思う。(片山敏之)
- 「持続的ウェルビーイング」という概念が社会的動物である人間の幸福や自己実現を図る上で大切な考え方だと思います。(松浦満夫)
- 触覚による人と人のつながりをテーマにした実践例についてはページ数が短く分かりづらい。(片山敏之)

##### 「2. 触覚の情報化が拓く新しいコミュニケーション」

■触覚のセンシングは難しいことがよく理解できた。その感覚のフィードバックや、センシングだけでなくアクチュエーターの機能も必要とのことで、今後の研究が期待されます。(後藤正宏)

■触覚によるAR表現や他者との触覚共有など、触覚技術が切り開く未来が楽しみになった。(匿名希望)

### 「3. 共生社会へ向けた触覚を使ったワークショップ」

■このような取り組みがより広まると良いと思いました。(匿名希望)

■「感じるスポーツラボ」のコンセプトがとてもいいと思いました。触覚を通じた感覚体験を積んだ子どもたちが創る社会を楽しみに感じます。(松浦満夫)

### 「4. 支え合いと信頼の経済学」

■今後の持続可能な社会の実現では、ウェルビーイング、協調、信頼、利他といったことに基づく社会活動・企業活動が必要になってくることが、クリアに説明されている。(匿名希望)

■社会形成に身体性がかかわるというのは大いに納得できるところでためになりました。(岡本克也)

■身体性が鍵ですが、タイトルからは想像できない興味深い内容です。(片山敏之)

### 「5. PS5用ゲームコントローラ『DualSense』はどのようにして生まれたか」

■身近なゲーム機器の細かな機能や、そのための各会社の戦略についても興味を持たれた。(匿名希望)

■「情報処理学会」っぽくなく、身近に感じられる記事でよかった。(上田晴康)

■触覚を利用した「振動による力覚の錯覚提示」はゲーム機の未知の領域とのことだが、今後の技術の進化とゲーム機以外の用途への応用等を期待します。(匿名希望)

■コントローラが世代ごとに進化しているのは感じていましたが、最新機種で盛り込まれた技術に触れることができて大変面白い記事でした。(岡本克也)

■PS5のDualSenseに込められた工夫の数々、こういう話は子供たちにも伝えていきたいと思いました。(匿名希望)

#### 連載「先生、質問です！」

■中学生の質問にも正面から答えていて、好感が持てる。(上田晴康)

■先生方の回答が示唆に富んでいて参考になった。(匿名希望)

■問いの整理について記載されていて、自分でも気がついていない自分の考えのまとめ方を改めて考える機会になった。(河瀬基公子)

#### 連載「情報の授業をしよう! : 新教育課程『情報I』を見据えた3年次『情報の科学』での卒業研究実践」

■高校の「情報I」の授業を計画・実践する流れが詳しく説明されており、コーディネーターとしての教員の苦労がうかがえました。(匿名希望)

■情報Iを想定した実践事例は少ないので、大変参考になった。

(井手広康)

■模擬卒業研究の試みは大変面白い!(高田峻介)

■高校における情報教育の一端が見えて参考になる。(中島秀之)

■高大連携が叫ばれている今、すでに高校現場で卒業研究が行われている点で驚いた。(小西敏雄)

#### 連載「ビブリオ・トーク: Product Design and Development 7th Edition」

■製造業において基本的なことが情報処理においては知られていないことが多いので、このような本がお勧めされたのが良かった。(上田晴康)

#### 会議レポート「Augmented Humans (AHs) 2021 会議報告」

■独自性のある研究が多数紹介されており、ぜひ論文を読んでみたくなった。(匿名希望)

#### 連載「5分で分かる!? 有名論文ナナム読み: Tom Goldstein and Stanley Osher: The SplitBregman Method for L1-Regularized Problems」

■過去の研究を現代視点で見つめなおすことにふれられていた点に同感できました。(イトウハルオ)

■語り口が読みやすく、該当分野を知らないが概要が分かったように思うし、良さそうな論文だと思った。(柴田 晃)

■数式は使ってもらっても構わないが、概念が分かりやすく解説されていた。(中島秀之)

■自身の体験を縦横に混ぜてとてもユニークに親しみやすく紹介している。(片山敏之)

■一見関係なさそうな論文も読んでみるとさまざまなヒントが得られるという視点はとても大事ですね。(濱 久人)

#### 解説「オンラインのデモ発表って、なんだ？」

■コロナ禍でのオンラインデモとは?という疑問に焦点を当て、筆者なりの観点でチャレンジした取り組みがよかったと思います。(匿名希望)

■今後のオンライン環境下での発表方法に一石を投じる良いものだと思う。(印部太智)

#### 会議レポート「深層学習がもたらす情報処理の可能性について視聴報告」

■深層学習の今後に関して考える良い機会になった。(匿名希望)

■会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■会議レポートのように各研究会での研究紹介を紙面で取り上げられると研究会の活動も知れて嬉しい。(柴田 晃)

■情報教育、ICT教育をもっと取り上げてほしい!(高田峻介)

■データサイエンスの必修化に伴う大学の対応の現状が知りたい

いです。(小西敏雄)

- 論文誌を Kindle で読むやり方をどこかでご案内いただけると助かります。(濱 久人)

連載「先生、質問です！」には以下の質問をいただきました。

- 触覚をつかった遠隔医療の展望を知りたい。(匿名希望)
- 「ゲーム理論」って何ですか?(匿名希望)
- 提案手法の略称の決め方が気になります。(高橋響子)

note「情報処理」(<https://note.com/ipsj>)に掲載されている記事に関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

- ときには専門を離れて気楽に眺めるのも良い。(片山敏之)
- 掲載記事は非常に面白かったです。(小西敏雄)

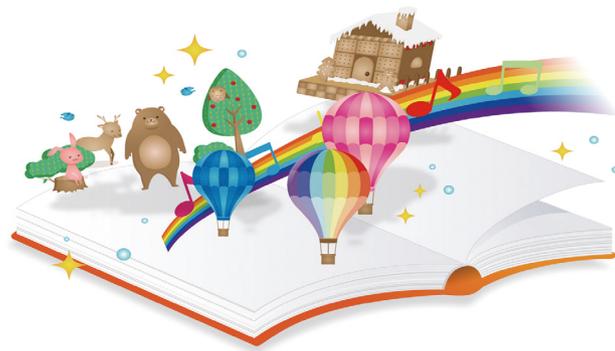
「情報処理」Vol.62 No.5「デジタルプラクティスコーナー」に掲載されている記事については、以下のようなご意見やご感想をいただきました。

- 「感性情報学」に興味を持ちました。(田中誠人)
- 興味深い記事が多かったです。(小西敏雄)

【本欄担当 村上洋一, 小澤圭右/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

「情報処理」アンケート回答フォーム▶  
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>



# ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため  
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため  
将来を担う人材の育成に資するため

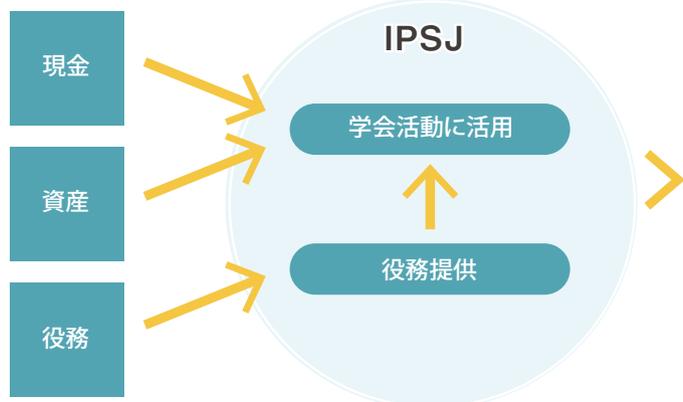
などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含まれます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

\* ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

## IPSJ 寄付

### 会員他寄付



### 活用先

#### 教育・育成

情報入試 | 子ども教室 | パソコン教室

#### 社会貢献

表彰

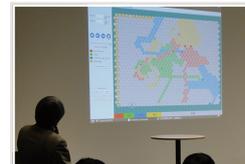
国際活動

規格標準化

情報資産保存

学会諸事業

その他



詳しくはこちら

<https://www.ipsj.or.jp/annai/other/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ [soumu@ipsj.or.jp](mailto:soumu@ipsj.or.jp)

# 人材募集 (有料会告)

**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 22,000円(税10%込)

賛助会員(企業) 33,000円(税10%込)

賛助会員以外の企業 55,000円(税10%込)

\*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金4,400円(税10%込)で同一内容を本会Webページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内(土日祝日除く)に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

## \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■長野工業高等専門学校工学科 (2022年4月学科再編予定)

**募集人員** 助教または講師 1名

**専門分野** 情報工学等

**担当科目** メディア情報, データサイエンス基礎, オペレーティングシステム, コンパイラ等の情報専門科目に加え, 実験実習, 卒業研究, 特別研究等

**応募資格** 次の(1)または(2)のいずれかを満たし, なおかつ(3)を満たす方

(1) 博士の学位を有する方, (2) 博士の学位の取得計画がある方\*, (3) 高等専門学校の教育目的を十分理解し, 教育・研究・学生指導(学級担任・課外活動・寮など)に熱心に取り組み, 行動力を有し, 心身ともに健康な方

\*博士の学位を取得見込みの方は, 任期付助教(任期は採用日から5年間)として採用する

**着任時期** 2022年4月1日

**提出書類** (1) 履歴書(市販用紙), (2) 著書・論文・社会活動等一覧(様式1), (3) 主要な著書・論文等の概要(3編程度, 様式2), (4) (3)の別刷(コピー可), (5) 教育および学生指導に対する抱負(A4用紙, 1,000字程度, 様式任意), (6) 研究に対する抱負(A4用紙, 1,000字程度, 様式任意), (7) 上記応募資格の(2)に該当する方は, 博士の学位取得計画(A4用紙, 1,000字程度, 様式任意), (8) 所属長(または指導教員)の推薦書またはこれに準じるもの

**応募締切** 2021年9月30日(必着)

**送付先** 〒381-8550 長野県長野市徳間716

長野工業高等専門学校 総務課人事係

E-mail: jinji1@nagano-nct.ac.jp Tel(026)295-7004

\*書類の提出は, 郵送のほか, E-mailでも受け付けます

\*郵送の際は, 封筒の表に「工学科(情報工学)教員 応募書類在中」と朱書き, 「簡易書留」で送付してください

### ■秋田県立大学システム科学技術学部情報工学科 情報システム創成学講座 (基礎情報工学講座より改称予定)

**募集人員** 教授または准教授 1名

**専門分野** 情報システム分野

情報システムならびに情報処理の基礎的分野に精通し, それを活用した応用分野あるいはシステム・サービスの開発・マネジメントにおいて顕著な実績のある方。特に, IoT(モノのインターネット), AI(人工知能)等のさまざまな技術を活用して, 現実空間の大規模な情報を収集・分析・知識化することにより, 農業・モビリティ等の分野において社会と地域の課題の解決に寄与する情報システムを構想・推進し, 学科の教育・研究・地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます

**担当科目** 情報ネットワーク工学, 情報システム学, モバイルネットワーク工学, 情報ネットワーク特論, 実習, 演習, セミナー, 卒業研究・修士論文指導など。さらに, 情報システム・データ活用の観点から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」にも積極的に取り組める方を求めます

**応募資格** (1) 博士の学位を有し研究上の業績を有すること, もしくは, それと同等のシステム・サービスの開発・マネジメントに関する顕著な実績を有すること, (2) 大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められること, (3) 当該分野の教育と研究に熱意を持ち, 地域貢献にも意欲を持っていること, (4) 国籍は問わないが, 日本語が堪能であること, (5) 採用が決定した場合, 確実に着任できること

**着任時期** 2022年4月1日

**応募締切** 2021年10月25日(必着)

**照会先** 情報工学科長 堂坂浩二

E-mail: dohsaka@akita-pu.ac.jp

**その他** 詳細は下記URLをご参照ください

<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/6911>

■早稲田大学理工学術院  
大学院情報生産システム研究科集積システム分野

**募集人員** 講師（常勤，任期付き） 若干名  
**専門分野** AI 社会を支える集積システムの幅広い基盤技術，およびそれらを発展させた応用システム  
**応募資格** 博士の学位（専門職を除く）を取得している方。または着任時までに取得見込の方（講義を日本語と英語で実施できることが必須）  
**着任時期** 2022 年 4 月 1 日  
**応募締切** 2021 年 10 月 27 日（15 時必着）  
**照会先** 情報生産システム研究科集積システム分野主任  
高畑清人 E-mail: k.takahata@waseda.jp  
**その他** 詳細： <https://www.waseda.jp/fsci/gips/news/2021/07/26/21337/>

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

**募集人員** 教授，准教授または助教 2 名  
**専門分野** データサイエンス， 知能情報学の分野から各 1 名  
**着任時期** 2022 年 4 月 1 日  
**応募締切** 2021 年 10 月 29 日（必着）  
**照会先** 情報工学科 学科長 福本 誠  
E-mail: fukumoto@fit.ac.jp Tel(092)606-5198  
Fax(092)606-1342  
**その他** 詳細： [https://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin\\_kobo/](https://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/)





# ニューノーマル時代に向けた情報技術の潮流

2020年、新型コロナウイルスの影響により、私たちの世界は大きな変革を強いられました。大きく変容した社会の課題解決や将来の社会基盤の形成を支援する役割が、情報技術には広く期待されています。特に、ニューノーマルと呼ばれるポストコロナ社会向け、DXを中心とした情報技術の浸透、AI、ロボットなどの活用による業務の改変が急速に進むことが想定されます。

このような状況を受け、2021年の連続セミナーは、企業の技術系人材、研究者が新たなビジネスや研究課題を切り拓きニューノーマル時代に価値を提供していくための礎となるよう企画しました。また、オンライン開催という利点を生かせるよう、これまでの計6回×半日の開催から計12回×2時間の開催とし、昨年より開始したオンライン見逃し配信も継続、フレキシブルに参加できるように企画しました。

2021年のセミナーを通じ、情報技術のポストコロナ社会への貢献と動向を俯瞰しつつ、AI、ロボティクス、セキュリティとトラスト、量子インターネットなど今後重要度を増す技術を取り上げ、その展開や適用事例を第一線の研究者・技術者に語っていただきます。

**終了しました** 水 午後  
ポストコロナ社会への貢献(1)  
コーディネータ: 江崎 浩 (東京大学)

**終了しました** 水 午後  
ポストコロナ社会への貢献(2)  
コーディネータ: 江崎 浩 (東京大学)

**終了しました** 木 午後  
最先端開発動向を俯瞰する(1)  
コーディネータ: 福島 俊一 (JST)

**終了しました** 金 午後  
最先端開発動向を俯瞰する(2)  
コーディネータ: 福島 俊一 (JST)

**終了しました** 月 午後  
AI×ロボティクス(1) AIとロボット、SR, その先に(1)  
コーディネータ: 松原 仁 (東京大学)

**終了しました** 火 午後  
AI×ロボティクス(2) AIとロボット、SR, その先に(2)  
コーディネータ: 松原 仁 (東京大学)

**10/5 火 午前**  
AI×ロボティクス(1) 深層学習によるロボットの知能化  
コーディネータ: 藤吉 弘亘 (中部大学)

**10/14 木 午後**  
AI×ロボティクス(2) AIとロボットの共進化  
コーディネータ: 尾形 哲也 (早稲田大学)

**10/27 水 午後**  
AIトレンド: 大規模モデルと生成モデル  
コーディネータ: 戸上 真人 (LINE)

**11/11 木 午前**  
デジタル社会におけるトラストサービス(1)  
コーディネータ: 手塚 悟 (慶應義塾大学)

**11/11 木 午後**  
デジタル社会におけるトラストサービス(2)  
コーディネータ: 手塚 悟 (慶應義塾大学)

**12/7 火 午前**  
量子インターネットと量子サイバースペース  
コーディネータ: 嶋田 義皓 (JST)

(消費税込)\*配布資料含

参加費	12枚	6枚	2枚	1枚	当日申込
正会員	85,800円	49,500円	18,700円	11,000円	12,000円
一般非会員	117,000円	67,500円	25,500円	15,000円	16,000円
学生	17,160円	9,900円	3,740円	2,200円	3,000円

\*正会員の参加費適用は、情報処理(個人・賛助会員)、電子情報、電気、照明、映像情報の各学会個人会員 および協賛企業 所属の方。

各回 2時間  
×  
全 12回開催  
になりました

参加はチケット制!!  
12枚一括購入が断然おトク!  
興味がある回を絞って6枚or2枚or1枚からの参加もO.K.

## \*スポンサー募集\*

連続セミナー 2021  
ではスポンサーを募集しております。

セミナースポンサー(各回)

費用: 33,000円(税込)

- 特典1: 聴講無料招待券(1口につき1枚)
- 特典2: Webページへのロゴの表示(サイズ小)、御社Webページへのリンク
- 特典3: セミナー開催前と休憩中にロゴや企業情報等を投影

問合せ先 一般社団法人情報処理学会 事業部門 event@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8373 <https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2021/>

協賛: 一般社団法人照明学会、一般社団法人情報通信技術委員会、一般財団法人インターネット協会、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、一般財団法人映像情報メディア学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人情報サービス産業協会、一般社団法人電気学会

## 2021 年度小中高教員新規入会キャンペーン

<https://www.ipsj.or.jp/member/kyoinwaribiki-nyukai-2021.html>



**期間** 2021 年 4 月 1 日～ 11 月 25 日

**対象** 小中高校（相当する教育機関を含む）に教職員として勤務されている方（現職）で、新規入会者の方にかぎります

### キャンペーン内容

1. 入会金（2,000 円）が免除となります
  2. 正会員の 2021 年度および 2022 年度の会費（10,800 円）が半額（5,400 円）に割引されます
- ※会員サービス内容は正会員と同じです

### 教員にとってのメリットとは

- 会誌「情報処理」が毎月読める
- 教員免許更新講習を会員価格で受けられる
- 中高生情報学研究コンテスト / Exciting Coding! Junior / 初等中等教員研究発表セッションなど生徒向けや教員向けイベントを情報教育に活用できる
- 『情報』に関する豊富な知識を得ることができる
- 情報処理学会の教育委員会が発信するトピックスやパブリックコメントをいち早くキャッチできる



## IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 41,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字× 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）  
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 55,000 円（税 10% 込）※ 3 社限定  
フッタ：1 回 22,000 円（税 10% 込）  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]  
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 200 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、以下 Web ページから奮って事務局までお寄せください。

「情報処理」アンケートページ <https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp

# 情報処理学会トランザクションデジタルプラクティス 特集号論文募集

## 「デジタル化競争を勝ち抜くための標準戦略」

● ● ▶ [投稿締切] 2021年11月8日(月) 17:00 ◀ ● ●

日本政府の第5期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカルデジタルトランスフォーメーションDXを進展させ、Society5.0の早期実現を図るためには、データ及びプロセスが連携を図っていくことが必須である。連携を効率的に実現するためには、さまざまな標準の確立が重要であることは論を待たないであろう。

2021年7月13日に総理大臣官邸で開催された国の知的財産戦略本部会合に提出された、「知的財産推進計画2021(案)～コロナ後のデジタル・グリーン競争を勝ち抜く無形資産強化戦略～」では、知的戦略の重点7施策の2番目に「優れた市場拡大に向けた標準の戦略的な活用の推進」が掲げられている。その中では、「近年、Society5.0、DX、次世代社会インフラ整備、カーボンニュートラルを科学技術イノベーションの社会実装によって実現し、グローバル競争下での国際市場の獲得のために標準の戦略的な活用を経営の基幹に据えることが喫緊の課題となっている。」とあり、国際競争力強化の観点で標準の重要性がますます増加する見通しが述べられている。一方において、我が国における課題として、「日本企業のロビイスト数とロビー費用は、欧米企業を比して大幅に少ないなど、戦略的な標準化活動において総じて遅れをとっているとの危機感を共有すべきである。さらには、日本企業の中では標準化活動については、外部経済性の高い領域として優先して資源を配分することが難しくなってきているとの指摘もある。」といった記述がされている。

このような課題への対応の手掛かりとすべく、本特集では、情報通信分野における標準化の活動、標準の活用例から導かれた、今後の活動において活用できる成功例あるいは失敗例に基づくプラクティス論文を募集する。以下に論文テーマの例を掲げるが、これに限定されるものではない。また、対象とする「標準」は国際標準に限定せず、幅広く各種の「ルール」も対象とする。

- ・事業戦略に標準化戦略を組込んで事業展開をした事例に基づく論文
- ・事業戦略に沿った標準を策定した事例に基づく論文
- ・事業戦略に合わない標準化を阻止した事例に基づく論文
- ・標準を戦略的に活用して事業を拡大した事例に基づく論文
- ・標準化を組織の業務として確立するための組織整備、人材育成の事例に基づく論文

※投稿要領：Web サイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/submit/tdp0303s-1.html> (応募資格は問いません)

※掲載号：2022年8月号 (Vol.3 No.3)

※特集ゲストエディタ：吉野松樹 (日立)

※特集号編集委員：編集委員長：河合 和哉 (情報規格調査会)

副編集委員長：藤瀬哲朗 (三菱総研)、細野 繁 (東京工科大学)

編集委員：青木学聡 (京都大学)、荒木拓也 (日本電気)、飯村結香子 (NTT)、石井一夫 (公立諏訪東京理科大学)、今原修一郎 (東芝)、岩倉友哉 (富士通研究所)、江谷典子 (Peach Aviation)、大嶋嘉人 (NTT)、鬼塚 真 (大阪大学)、鎌田真由美 (日本マイクロソフト)、上條浩一 (日本IBM)、斎藤彰宏 (日本IBM)、坂下 秀 (アクタスソフトウェア)、佐藤 聡 (筑波大学)、佐藤裕一 (富士通研究所)、澤谷由里子 (東京工科大学)、澤邊知子 (日本大学)、立床雅司 (三菱電機)、戸田貴久 (電気通信大学)、長坂健治 (New co)、西山博泰 (日立製作所)、新田 清 (ヤフー)、浜 直史 (日立製作所)、濱崎雅弘 (産業技術総合研究所)、平井千秋 (日立製作所)、福原知宏 (マルティスーパ (株))、藤原 一毅 (国立情報学研究所)、横井直明 (日立製作所)

アドバイザー：喜連川優 (国立情報学研究所・東京大学)

(論文募集公開時点 (2021年8月))

# 情報処理学会トランザクションデジタルプラクティス 特集号論文募集

## 「新しい生活様式を見据えた インターネットと運用技術」

● ● ▶ [投稿締切] 2021年11月8日(月) 17:00 ◀ ● ●

2020年に入り新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界的に猛威を振るい、この影響で企業活動や教育研究活動にも変化が求められています。感染症拡大を抑制するために急遽勧められたテレワークやオンライン授業などもその変化の一つと言えます。このような急速なデジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation: DX)の流れの中で、新たな問題や課題が見えてきました。テレワークのためのリモートアクセスキャパシティの問題や、それらの脆弱性に対する攻撃など、これまで見られなかった攻撃が行われ始めています。また、オンラインだけではなくオンライン・オフラインのハイブリッド形式の授業や会議のあり方が模索され始めています。この様に今後の社会活動はこれまでとは異なり、「新しい生活様式」の実践が求められ、その実践にはICTのさらなる活用と強固な情報基盤が必要となります。

本特集号では、COVID-19が世界的に収束することを願いつつ「新しい生活様式」を見据えたインターネットと運用管理技術に焦点を当て、これからの情報通信基盤の構築および活用に向けた最新の研究、開発、実験、運用等に関するプラクティス論文を掲載します。また、実践の中で問題解決を図っており、他の環境においても有用な知見が述べられた論文を積極的に評価します。以上のことにより、情報システム等に関連する様々な運用技術の発展に寄与することを目指します。具体的には以下のようなトピックを対象としますが、必ずしもこれらに限定するものではありません。

- テレワーク、オンライン会議・授業・研究会などについて話題
- システム運用管理のための技術
- システムの運用管理における人材教育
- その他、システム運用管理に関連する話題

インターネットや情報システムの運用管理について、設計・開発・運用してこられた技術者・研究者の皆様は、この機会にぜひ、ご自身の経験と知見を論文としてご発表ください。本特集は、情報処理学会インターネットと運用技術研究会が企画したものです。本特集がインターネットや情報システムの運用管理の発展の一助となれば幸いです。

※投稿要領: Web サイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/submit/tdp0303s-2.html> (応募資格は問いません)

※掲載号: 2022年8月号 (Vol.3 No.3)

※特集ゲストエディタ: 坂下 秀 (株) アクタスソフトウェア)

※特集号編集委員: 編集委員長: 吉野松樹 (日立)

副編集委員長: 藤瀬哲朗 (三菱総研)、細野 繁 (東京工科大学)

編集委員: 青木学聡 (京都大学)、荒木拓也 (日本電気)、飯村結香子 (NTT)、石井一夫 (公立諏訪東京理科大学)、今原修一郎 (東芝)、岩倉友哉 (富士通研究所)、江谷典子 (Peach・Aviation)、大嶋嘉人 (NTT)、鬼塚 真 (大阪大学)、鎌田真由美 (日本マイクロソフト)、上條浩一 (日本IBM)、斎藤彰宏 (日本IBM)、坂下 秀 (アクタスソフトウェア)、佐藤 聡 (筑波大学)、佐藤裕一 (富士通研究所)、澤谷由里子 (東京工科大学)、澤邊知子 (日本大学)、立床雅司 (三菱電機)、戸田貴久 (電気通信大学)、長坂健治 (New co)、西山博泰 (日立製作所)、新田 清 (ヤフー)、浜 直史 (日立製作所)、濱崎雅弘 (産業技術総合研究所)、平井千秋 (日立製作所)、福原知宏 (マルティスーパ (株))、藤原一毅 (国立情報学研究所)、横井直明 (日立製作所)

アドバイザー: 喜連川優 (国立情報学研究所・東京大学)

(論文募集公開時点 (2021年7月))



大学・工業高校・専門学校などで  
教科書・参考書としてお使いいただけるシリーズです。

新刊

## 一般情報教育 (一般教育シリーズ)

稲垣知宏・上繁義史・北上 始・佐々木整・高橋尚子・  
中鉢直宏・徳野淳子・中西通雄・堀江郁美・水野一徳・  
山際 基・山下和之・湯瀬裕昭・和田 勉・渡邊真也 著  
A5判/266頁/定価2,420円(税込)

## オペレーティングシステム (改訂2版)

野口健一郎・光来健一・品川高廣 共著  
A5判/256頁/定価3,080円(税込)

## ネットワークセキュリティ

菊池浩明・上原哲太郎 共著  
A5判/206頁/定価3,080円(税込)

## ソフトウェア工学

平山雅之・鶴林尚靖 共著  
A5判/214頁/定価2,860円(税込)

## 応用Web技術 (改訂2版)

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉 共著  
A5判/192頁/定価2,750円(税込)

## 基礎Web技術 (改訂2版)

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著  
A5判/196頁/定価2,750円(税込)

## 画像工学

堀越 力・森本 正志・三浦康之・澤野弘明 共著  
A5判/232頁/定価3,080円(税込)

## 人工知能 (改訂2版)

本位田真一 監修/松本一教・宮原哲浩・  
永井保夫・市瀬龍太郎 共著  
A5判/244頁/定価3,080円(税込)

## 音声認識システム (改訂2版)

河原達也 編著  
A5判/208頁/定価3,850円(税込)

ヒューマンコンピュータ  
インタラクション (改訂2版)

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・仲谷美江・塩澤秀和  
共著 A5判/260頁/定価3,080円(税込)

## ソフトウェア開発 (改訂2版)

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著  
A5判/224頁/定価3,080円(税込)

## 情報と職業 (改訂2版)

駒谷昇一・辰己丈夫 共著  
A5判/232頁/定価2,750円(税込)

## 情報通信ネットワーク

阪田史郎・井関文一・小高知宏・甲藤二郎・  
菊池浩明・塩田茂雄・長 敬三 共著  
A5判/288頁/定価3,080円(税込)

## 数理最適化

久野善人・繁野麻衣子・後藤順哉 共著  
A5判/272頁/定価3,630円(税込)

## 情報とネットワーク社会 (一般教育シリーズ)

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・佐々木整・  
湯瀬裕昭 共著 A5判/196頁/定価2,420円(税込)

## 情報とコンピュータ (一般教育シリーズ)

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・岡田 正・  
佐々木整・山口和紀 共著  
A5判/176頁/定価2,420円(税込)

## メディア学概論

山口治男 著  
A5判/172頁/定価2,640円(税込)

## 情報ネットワーク (一般教育シリーズ)

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著  
A5判/168頁/定価2,530円(税込)

## 離散数学

松原良太・大高彰昇・藤田慎也・小関健太・  
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著  
A5判/256頁/定価3,080円(税込)

## HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著  
A5判/256頁/定価3,080円(税込)

## ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著  
A5判/232頁/定価3,080円(税込)

Java/UMLによる  
アプリケーション開発

森澤好臣 監修/布広永示・高橋英男 共著  
A5判/208頁/定価2,860円(税込)

## 情報理論

白木善尚 編  
村松 純・岩田賢一・有村光晴・波谷智治 共著  
A5判/256頁/定価3,080円(税込)

## Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・  
マッキンケネスジェームス・大見嘉弘 共著  
A5判/248頁/定価2,750円(税込)

## システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著  
A5判/242頁/定価3,080円(税込)

## 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著  
A5判/280頁/定価3,300円(税込)

## 情報システム基礎 (一般教育シリーズ)

神沼靖子 編著  
A5判/228頁/定価2,750円(税込)

## Linux演習

前野譲二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・  
高島俊徳 共著  
A5判/224頁/定価2,750円(税込)

## インターネットプロトコル

阪田史郎 編著  
A5判/272頁/定価3,080円(税込)

## 分散処理

谷口秀夫 編著  
A5判/240頁/定価3,080円(税込)

情報とコンピューティング  
(一般教育シリーズ)

川合 慧 監修/河村一樹 編著  
A5判/228頁/定価2,750円(税込)

## 情報と社会 (一般教育シリーズ)

川合 慧 監修/駒谷昇一 編著  
A5判/236頁/定価2,750円(税込)

## コンピュータアーキテクチャ (改訂2版)

小柳 滋・内田啓一郎 共著  
A5判/256頁/定価3,190円(税込)

## コンピュータグラフィックス

魏 大名・先田和弘・Roman Durikovic・向井信彦・  
Carl Vilbrandt 共著  
A5判/280頁/定価3,300円(税込)

## アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著  
A5判/242頁/定価3,080円(税込)

## データベース

速水治夫・宮崎収一・山崎晴明 共著  
A5判/196頁/定価2,750円(税込)

## ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著  
A5判/228頁/定価3,080円(税込)

## データベースの基礎

吉川正俊 著  
A5判/288頁/定価3,190円(税込)

## コンピュータグラフィックスの基礎

宮崎大輔・床井浩平・結城 修・吉田 典正 著  
A5判/292頁/定価3,520円(税込)

価格は変更する場合があります。

注文はオーム社Webサイトまで ▶ [https://www.ohmsha.co.jp/tbc/text\\_series\\_0202.htm](https://www.ohmsha.co.jp/tbc/text_series_0202.htm)

**CONTENTS**

**Preface**

- 536 **The Digital Agency Launched ; From "DX" to "DIGIDO"**  
Takuya HIRAI (Minister for Digital Transformation)

**Special Features**

*Dialogue System with Increasing Practical Use*

- 538 **Foreword**  
Mikiko SODE TANAKA (International College of Technology)
- 540 **Outline**

**Reports : The 2021 IPSJ/IEEE-Computer Society Young Computer Researcher Award**

- 542 **Message from the Selection Committee**  
Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)
- 543 **Research on The "Interaction Space" Between Humans and Computers**  
Daisuke SAKAMOTO (Hokkaido Univ.)
- 544 **Research for Practical Applications**  
Takuya AZUMI (Saitama univ.)
- 545 **Research Life Focusing on Privacy Preserving Data Mining**  
Yuichi SEI (The Univ. of Electro-Communications)

**Reports : The 2021 IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research**

- 546 **Message from the Selection Committee**  
Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)

- 547 **Research to Pioneer The Future of Programming and Media Content**  
Jun KATO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST) / Arch Inc.)

**"Peta-gogy" for Future**

- 549 **A Technical Standard for Learning Objectives and Rubrics : Imaging A Digital Ecosystem From Top-down Perspective**  
Tsuneo YAMADA (The Open Univ. of Japan)
- 550 **IMS CASE Specification and Its Potential**  
Makoto MIYAZAKI (Teikyo Univ.)
- 554 **A Report of Lesson and Support of Programming Education in Elementary School**  
Maiko SHIMABUKU (Osaka Electro-Communication Univ.)

**Let's Learn Informatics**

- 560 **Problem-Solving Based on Data Science in High School - Bringing Up Creative Power to Open Up the AI Era -**  
Hiroki HAYASHI (Hyogo Prefecture Himeji Nishi Senior High School)

- 
- 558 **IT Travelog Manga**
  - 566 **Biblio Talk**
  - 568 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
  - 572 **Conference Report**

**Online Only**

**Special Features**

*Dialogue System with Increasing Practical Use*

- e1 **Introduction to Dialogue Systems - Human-Machine Communication Using Natural Language -**  
Mikio NAKANO (C4A Research Institute, Inc.)
- e7 **Natural Language Understanding by Machine Reading Comprehension**  
Kyosuke NISHIDA (NTT Corp.)
- e12 **The Technology and Evolution of Chatbot Services**  
Shinya IWASAKI and Naoya TSUMURA (Hitachi Systems, Ltd.)

- e19 **AI Chatbot for Chit-chat with General Users**  
Kei SAWADA (rinna Co., Ltd.)
- e24 **What Are the Current Problems in Dialogue Systems?**  
Ryuichiro HIGASHINAKA (Nagoya Univ.) and Koh MITSUDA (NTT Corp.)

ここ数年、AIブームの何回目かの再来が情報処理技術を活かしてきている。AIは異常なスピードで変化が進む特筆すべき技術分野と言える。我々は毎月1回、特集に関する記事内容をワーキンググループで話し合っているが、AI関連の新たな話題は尽きることがない。

今回は、急速に実用化が進むチャットボットを取り上げることとなり、その技術的基礎も含め紹介すべきだという結論に達した結果、「対話システム」として小特集を組んだ。私は、長年老人、子供見守りシステムの研究に取り組んでいるが、カメラでの見守りだけではなく、人に寄り添うシステムを作りたいと考えている。その実現のためには「対話」が1つのキーになると感じている。老人の話し相手になって、わずかな変化も見

逃さず家族のような細やかな見守りシステムの開発が願いだ。

コンピュータの動作や指示を制御する主体は依然としてプログラミング言語であるが、自然言語で指示を与えることができれば、デジタルデバイスなんて言葉もなくなるのと思う。もちろん攻撃的なツイート投稿によって停止されたAIチャットボット「Tay」の例を考えると、慎重に進めるべき点も多いように思えるが、楽天的な私は近い将来、「年老いた私」との話し相手になってくれる、友としてのシステムを期待している。

今回の小特集編集にあたり、忙しい中ご対応をいただいた著者の方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げたい。

(袖美樹子/本小特集エディタ)

### 次号 (11月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

※はオンライン版のみの掲載となります

特別解説：暗号資産の現在と将来	岩下直行
ネットの誹謗中傷問題は解消するのか?～プロバイダ責任制限法改正と今後の課題～*	小向太郎
大学入学共通テスト実施大綱の予告に関する本会の意見について*	萩谷昌己

#### 「特集」観光情報学\*

ポストコロナにおける観光/観光情報のオープンデータ化/UGCを利用した観光資源の発見と推薦/参加型観光情報の収集/人流クラスタリング解析/観光ナビゲーション/観光のための動画キュレーション/観光とチャットボット—自動FAQ, 推薦, 行動変容対話—/観光客の心理状態推定—観光に対する感情・満足度の定量的な推定に向けて—

#### 「デジタルプラクティスコーナー」\*

##### 特集：DXのプラクティス～ニューノーマル時代を生き延びる～

DX先進企業から見るDXの現在地、構造、方向/急激な環境変化に対応する「DX時代のイノベーション創出プログラム」/顔認証とDigital IDを活用したサービス社会の実現に向けて/事例から見るRPA導入の課題とその解決/インタビュー

##### 提携団体推薦論文

新しい生活様式に適したセキュアなリッチクライアントの実装～Windows10およびMicrosoft365の標準機能の活用事例～/建設現場のデジタルシフト～IoTデータの収集から活用に至るプロセスの構築～

##### 報告：未踏の第27期スーパークリエイターたち\*

##### トピックス：2020年度研究会推薦博士論文速報\*

##### 教育コーナー：べた語義

連載：5分で分かる! 有名論文ナメ読み/情報の授業をしよう!/先生、質問です!/ビブリオ・トーク

##### コラム：巻頭コラム

##### 会議レポート：ACM CHI2021 会議報告 (2)

#### 複写される方へ

一般社団法人情報処理学会では複写複製および転載複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請ください。

尚、本会会員(賛助会員含む)および著者が転載利用の申請をされる場合には、学術目的利用に限り、無償で転載利用いただくことが可能です。ただし、利用の際には予め申請いただくようお願い致します。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル  
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。  
Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

#### Notice for Photocopying

Information Processing Society of Japan authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JACC) to license our reproduction rights and reuse rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JACC (<http://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations.

You may reuse a content for non-commercial use for free, however please contact us directly to obtain the permission for the reuse content in advance.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
E-mail: info@jaacc.jp  
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み .....

■ 広告料金表 (価格は税 10%込)

掲載場所	4色	1色
表2	363,000円	—
表3	302,500円	—
表4	423,500円	—
表2対向	330,000円	—
表3対向	291,500円	170,500円
前付1頁	275,000円	148,500円
前付1/2頁	—	88,000円
前付最終	—	162,800円
目次前	—	162,800円
差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚)	302,500円	
差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚)	385,000円	
同封 (A4変形判 1枚)	385,000円	

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4変形判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地 250mm × 左右 180mm  
 1/2頁 天地 120mm × 左右 180mm  
 雑誌寸法 天地 280mm × 左右 210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求 .....

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック  を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 62巻10号 掲載広告 (五十音順)

- 電子情報通信学会..... 表2対向下       日立製作所..... 表4  
 とめ研究所..... 表2対向上  
 すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 - ) \_\_\_\_\_

TEL ( ) - FAX ( ) -

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。  
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所



三菱電機 (株)

**FUJITSU**

富士通 (株)



(株) サイバーエージェント

Orchestrating a brighter world

**NEC**

日本電気 (株)



日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



(株) リクルート



グーグル合同会社



(株) NTTドコモ



(株) 東芝



日本電信電話 (株)



日本マイクロソフト (株)



(株) フォーラムエイト

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



(一社) 情報通信技術委員会



(株) NTTデータ



GREE (株)



(一財) インターネット協会



(一社) 情報サービス産業協会



トレンドマイクロ (株)



NTTコムウェア (株)



NTTテクノクロス (株)



(株) うえじま企画



エッジテクノロジー (株)



沖電気工業 (株)



コアマイクロシステムズ (株)



三美印刷 (株)



ソニー (株)



(株) テクノプロ  
テクノプロ・デザイン社

**MIZUHO** みずほリサーチ&テクノロジーズ

みずほリサーチ&テクノロジーズ (株)